

悲喜こもごもの人生

横浜市南区
東都宏

「生きるとは呼吸することではない、行為することだ」「行動せよ、生けるうちに行動せよ」といった有名な言葉があります。私事80歳代も後半、超高齢でもまた講座を受けた生徒さんからも、薬物の怖さがわかり絶対に誘われても断る勇気を得ましたという嬉しい感想をいただき、大変自分の心に嬉しい充実感を感じます。

人に看てもらうのでなく、何か世間の役に立つものはないかと考えた上、ただいま小学校高学年と中学校低

ています。「心には皺はない」という有名な言葉もありますが、体も頭も正常に働く間は続けていきたいと

一方「悲喜こもごも」なのが人生、悲しいこともある。それは学生時代以来の親友が肺炎で最近世

て「薬物乱用防止講座」を行っていました。診療所を継いでくれた息子¹の診療のお手伝いをしながらこの講座を追いかけています。

もう5校目になりましたが、が学校当局よりも喜ばれ、



親身になって私の運命に常に興味を示してくれる真の友人でしたが、医療によって人の生命は延ばされるかもしれませんが死は医師にも必ず訪れます。彼にとって死は

素晴らしい休息になったか
もしれませんが、残された
私にとっては、半身を失っ
たような悲しみになりました。
彼も私と同様息子さん
と一緒にまだ診療に従事し
ただけ価値ある人生を送
れるか楽しみにしているとい
う手紙を最後に、志半ばは
に人生を終えました。悲し
みに包まれながらも彼の人
生観を尊重し自分の糧にし
ながらこの先を見据えてい
る今です。

人生悲喜こもごも

川崎市宮前区
福島
芳彦

私自身KYと言われても 75歳になり体力気力とも些
仕方がないと思いつつ、漫 か衰えを感じ始めたこと。
然と過ごしてきましたが、 これは遅かれ早かれ逃れら

しております。

齡67歳になり、死亡適齡期の入口に入ってきた私は、人の世に浮きつ沈みつ漂いながら、自分なりの喜怒哀楽を様々に味す。

わって来ました。

思い返せば、荒々しくも、自分も人をも傷つけたかも知れない下手な生き方をして来た、との実感があります。もっと上手な過ごしかたがあった人生とは何だったのか」

横浜市瀬谷区 齋藤 紘昭



▶ 発刊書籍表紙のイラスト

敗北的ではなく、とか、ぶつぶつと呟く時が、少しでも遅らせることがでるのなら、嬉しいのではないでしょう

テーマ投稿

「最近
うれしかったこと、
悲しかったこと」



あいかわらず、日本の三権にはあきれる事が多い日々です。今年になり、三人の男性を殺人したという木嶋佳苗という人が死刑判決を受けました。光市事件では、未成年だった人にも死刑判決が出ました。これらは死刑判決の一部で報道された氷山の一角です。「天は人の上に人を作らず」と言いますが現実には人の上には人は作られています。

が許されるのであるなら子どもを殺された親が犯人を殺しても無罪にすべきではないでしょうか。

テロリストの人も同じで目の前で親や兄弟が殺されたための復讐にすぎません。テロがだめなら死刑もだめだと思います。行っていることは何も変わりませ

法はもっているのです。

我々医師、歯科医師と比べ

が許されるのであるなら、子どもを殺された親が犯人を殺しても無罪にすべきではないでしょうか。

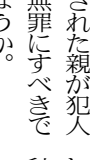
テロリストの人も同じで目の前で親や兄弟が殺されたための復讐にすぎません。テロがだめなら死刑もだめだと思います。行っていることは何も変わりません。この様な大きな力を司法はもっているのです。

我々医師、歯科医師と比べ

い」という事を言っている。その結果、町には歯科医院があふれ、患者の奪い合いが起こり、産科医の減少が見られるのだと思います。司法にあまりにも大きな力がある事が原因だと先のように思います。

「蛭沼」

厚木市 黒岩 隆



医師不足と死刑判決

川崎市麻生区 上原 良一

思います。明るく未来のためにもヨーロッパを見習い、死刑を中止していくべきではないでしょうか？人を殺しても憎しみしか生まれない、「罪を憎んで人を憎まず」だと思います。

「螢沼」

厚木市 黒岩 隆



薄氷に石投げ入れよ春の明け
中天の疵となりけり春の鶯
振り向いた頬赤き児や春浅し
片恋にリボンをかけて

バレンタインデー

ああちゃんど口にしている桜どき
お土産の餃子の熱さ春の宵
男町より女町にかかる虹の足
白き手に触つたような木下闇
銀の匙よみなほしたき夜のおぼろ
憂いつつ満ちくるものや春の海
眸碧き犬の踏み入る春の海
海鳴りは太鼓のごとし寄居虫出ず
筍や月光浴びて化けており
墮つとみせ昇りてやまず滝の水
日蝕や二足歩行の夏寒し
ポケットに紅の貝あり衣更え
ソーダ水泡の行方はそれぞれに
星ひとつ迷い込みたる蜚沼

一般投稿



圈においても行われていません。この様な全世界的に否定されている死刑の事を司法に認めさせている事に問題があると思います。私はこれらの事件が起こった事について必ずしも被告自生もいるとは思いますが、医師の中にも悪意のある先生もいるとは思いますが、通常においてはありえないでしょう。にもかかわらず、「先生が悪いから有罪」という理不尽な判決が多いのも事実です。

身が全て悪いとは思いません。とりまく環境が悪いと思います。死刑にしてもトカゲのしっぽ切りで裁判官と被害者遺族が満足するだけのように思います。これ

このため少しでも訴訟の少ない科に人気が集まり、リスクの高い産科に人が集まらないのだと思います。私が歯科大学に進学すると、私も父親は「リスクが少な

一般投稿